舞鶴市消防団操法大会を開催

20個消防団が正確性や迅速性を競う

▲小型ポンプ操法の部で競技中の消防団員

7月1日、海上自衛隊舞鶴教育隊グラウンドで第38回舞鶴市消防団消防操法大会が行われました。ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に市内の消防団20個団約450人が参加し、日頃の訓練の成果を競いました。

消防操法とは、ポンプやホースの展開、放水、撤収までの一連の流れの速さや正確さなどを競うもの。ポンプ車操法の部では南消防団、小型ポンプ操法の部では岡田上消防団が優勝しました。《消防本部》

優良工事施工者を表彰

市内の企業7社が受賞

▲全員で記念写真を撮影

模範となる優れた工事を施工した事業者を表彰する舞鶴市優良工事施工者表彰式を7月20日、市役所で開催。29年度に完成した市発注の入札工事170件から特に優れた7社に対し、多々見市長から表彰状が手渡されました。

表彰に際し多々見市長は「受賞された皆さんにおかれましては、今後さらなる研さんを積んでいただき、技術力・施工能力をさらに向上されることを期待しています」とあいさつしました。

同制度は公共工事の品質確保と請負者の技術力・施工能力の向上を目的に創設したもので、今回で3回目。

受賞した施工者は次のとおりです。

◆**最優秀賞**
鶴美建設株式会社

◆**優秀賞**
◇シンコー・ツバサ特定建設工事共同企業体（土木一式工事）
◇新和建設株式会社（土木一式工事）
◇株式会社アトラス（土木一式工事）
◇岩田・西谷特定建設工事共同企業体（電気工事）
◇今村工業株式会社（ほ装工事）
◇鶴美・サクライ特定建設工事共同企業体（水道施設工事）

《指導検査課》

39代目 クイーンまいづる 決まる

▲左から堀さん、湯沢さん、平松さん

第39代クイーンまいづるに京都北都信用金庫舞鶴中央支店勤務の堀絢夏さん（25歳、公文名）、神戸女学院大文学部3年の湯沢沙梨菜さん（20歳、西宮市）、海上自衛隊第23航空隊2等海曹の平松涼子さん（29歳、長浜）が選ばれました。

3人は、7月28日にマナイ商店街で行われたみなと舞鶴ちゃったまつり前夜祭で第38代クイーンまいづると交代。この日から1年間、市内・外のイベントで舞鶴の魅力を全国に発信します。《観光商業課》

地域とともにある学校づくり

学校運営協議会を青葉・和田校区に設置

市では、「地域とともにある学校づくり」をさらに推進するため、青葉中学校区と和田中学校区にある小・中学校に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しました。

協議会は、保護者や地域、教職員の代表で構成。各学校の教育目標や課題などについて情報を共有し、話し合いを通じて、学校・家庭・地域の連携・協力により、地域ぐるみでより良い教育環境づくりを進めていきます。

《教育企画課》

8月26日 大規模地震に伴う原子力災害を想定

原子力防災訓練を実施

8月26日(日)に大浦地区と朝来地区で原子力防災訓練を実施します。大規模地震に伴い、高浜・大飯発電所で共に原子力災害が発生し、地域が孤立した場合などを想定。

原子力防災訓練における住民の行動パターン
（朝来小学校区 Bゾーン）

自宅
① 屋内退避指示
◇防災行政無線、広報車、消防団の巡回、メール配信サービスで情報伝達
◇チェックシートで屋内退避の行動を確認
◇避難時の持出品の準備
◇避難カードの記入

自宅
② 避難指示
◇防災行政無線、広報車、消防団の巡回、メール配信サービスで情報伝達
◇チェックシートで避難行動を確認
◇避難時の持出品と避難カードを持って避難時集結場所へ移動
◇避難完了の目印として白いタオルを玄関先に掲出

徒歩、自家用車などで避難時集結場所へ

朝来小学校
③ 避難時集結場所に集結
◇避難カードの提出
◇避難先の確認
◇安定ヨウ素剤の緊急配布に係る簡易問診を受診
◇簡易問診結果によって安定ヨウ素剤（アメで代用）を受領、服用
◇避難中継所へ移動

バスで避難中継所へ

福知山市三段池公園
④ 避難中継所
◇避難退域時検査を受検
◇汚染があれば除染を実施
◇除染終了後、避難退域時検査済証を受領

この訓練では、防災関係機関と地域住民が一体となって訓練を行うことで、避難誘導体制の確認や防災関係機関の連携を強め、また、市民の皆さんの住民避難手順を確認することを目的に実施するものです。

訓練の実施にご理解とご協力をお願いします。訓練の詳細は次のとおりです。

◆**日時**
8月26日(日)8時～17時

◆**場所**
大浦地区（大山・田井・成生・野原）、朝来地区

◆**訓練の概要**

《**PAZ地区避難訓練（大浦地区）**》
◇情報伝達訓練
◇住民避難訓練
◇住民避難訓練
◇空路や海路避難による孤立住民避難訓練

《**UPZ地区避難訓練（朝来地区）**》
◇情報伝達訓練
◇住民避難訓練（朝来小学校）
◇安定ヨウ素剤緊急配布訓練
◇広域避難訓練（福知山市三段池公園→京都市）
◇避難退域時検査・除染訓練
◇避難行動要支援者避難訓練
◇放射線防護対策設備稼働訓練など

▼詳しくは、危機管理・防災課（☎66・1089）へ。

当初5年借入金利0・25%引き下げ

住宅の購入・改修時の借入を支援

市は、子育て世帯の住宅リフォームや市外からの移住、まちなかエリアへの移住を希望する人を支援するために、独立行政法人住宅金融支援機構と【フラット35】子育て支援型・地域活性化型及び移住定住促進事業に係る相互協力に関する協定」を7月11日に締結しました。

この日、舞鶴市役所で行われた締結式では、多々見市長と住宅金融支援機構（加藤利男理事長）の柳瀬守・近畿支店支店長が協定書を交換しました。子育て支援と地域活性型（コンパクトシティ形成・空き家対策）を網羅した協定締結は全国初。また、地域活性化型（コンパクトシティ形成）の協定締結は近畿では初めてで、同型（空き家対策型）は府内で初めて。

同協定は、市の移住・定住に関する補助事業（子育て世帯住宅リフォーム事業、農村移住促進事業、まちなかエリア定住促進空き家再生事業）を利用する場合、対象住宅の購入やリフォームに係る費用の借入金利の引き下げを受けられるもの。主な市の事業概要は左表のとおり。

《移住・定住促進課、都市計画課、農林課》

▲協定を締結し握手する多々見市長（右）と柳瀬支店長（左）

事業名	子育て世帯住宅リフォーム等支援事業	農村移住促進事業		まちなかエリア定住促進空き家再生事業
		移住促進住宅整備事業	移住者金利負担軽減事業	
対象	◇多子世帯 ◇3世代近居を新たに始める世帯 ◇3世代同居を新たに始める世帯	空き家バンク制度を利用しての移住希望者	空き家バンク制度を使用して市外からの移住希望者	空き家バンク制度を利用する市内・外からのまちなかエリア内への移住希望者
内容	◇住宅リフォーム工事費 ◇住宅購入・賃貸にかかる仲介手数料	移住促進特別区域の空き家の改修費用補助	空き家の取得・改修に必要な資金の融資に係る金利補助	購入・賃貸する空き家の改修費用
窓口	移住・定住促進課（☎66・1085）	農林課（☎66・1023）		都市計画課（☎66・1048）

※各事業の詳細は窓口へお問い合わせを